

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2	熊谷 聡一郎 神谷 智恵美 松本 義人 元木 和泉 山村 貴之	Vision Quest Logic and Expression Ⅲ (三省堂) Write to the Point (数研出版) Breakthrough総合英語 (美誠社) Vintage 英文法・語法 (いっずな書店) 共通テストリスニング (エミル出版) 基礎英作文問題精講 (旺文社)
必履修 ○学校必履修 必修選択 自由選択		

## ◆学習の目標

1. 英文の構造を理解し、文法・語法に基づいて正確に英文を書くことができる。
2. 様々な話題について、論理的に自分の考えを英語で表現できる。
3. 和文英訳・自由英作を通して活用することで、文法事項を完全に自分のものとする。
4. 難関国立大の2次試験を突破できるレベルの確かな英語力を身に付ける。

## ◆主な学習内容・方法

- ・ Write to the Point :  
和文英訳の演習を通して、文法事項や構文を復習しながら、英語での表現力を向上させる。
- ・ Vintage 英文法・語法および Breakthrough 総合英語 :  
引き続き全ての学習で使用し、文法・語法を抜け・漏れを埋める。

## ◆到達目標と評価の方法

## 到達目標：

- 〔標準〕 様々な英語表現を場面や機能に応じて使い分けられる。  
文法や語法に基づいて、伝えたい内容を英語で表現できる。
- 〔応用〕 パラグラフライティングを学び、まとまった英文を書く力を養う。  
難関国立大学の二次試験に対応できる表現力を身に付ける。

## 〔観点別評価の評価規準〕

## ○知識・技能

- ・ 英語の論理表現の理解を深め、目的や場面、状況に応じて、実際のコミュニケーションで適切に活用できる。

## ○思考・判断・表現

- ・ 言語の使用場面に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図を的確に理解したり、表現したりすることが出来る。

## ○主体的に学習に取り組む態度

- ・ 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が見られる。

## 〔評価の観点〕

上記〔標準〕の到達目標に基づき、「知識・理解」「表現・運用」「関心・意欲・態度」の観点から評価する。

## ◆年間予定授業時間

予定時数	70時間	1学期 (26時間)	2学期 (28時間)	3学期 (16時間)
------	------	------------	------------	------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

<p>・ Write to the Point</p> <p>【予習】 Breakthrough 総合英語や Vintage, これまでのノートなどを参照し、問題を解いてくる。</p> <p>【授業】 講義、グループワーク、ペアワークなど、様々な形態で理解を深める。</p> <p>【復習】 理解が不十分だった内容について、Breakthrough 総合英語、Vintage、ノートの該当箇所を読み直し、定着を図る。</p>
--

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	Write to the Point Exercises A	26	標準的なレベルの和文英訳に取り組む。 (中堅国公立レベル)	<p>・毎回の授業に課題意識をもって臨むことができる。</p> <p>・「何となく」を脱却し、なぜそうなるのか、文法的根拠を説明できる。</p> <p>・表現活動に必要な基本的な知識を習得している。</p>
	5				
	6				
	7				
2 学期	8	Write to the Point Exercises B	27	発展的なレベルの和文英訳に取り組む。 (上位国公立レベル)	<p>・課題を明確にし、主体的に学習することができる。</p> <p>・「何となく」を脱却し、なぜそうなるのか、文法的根拠をもって論理的に説明できる。</p> <p>・表現活動に必要な基本的な知識を習得し、それらを活用できる。</p>
	9				
	10				
	11				
	12				
3 学期	1	共通テスト 直前演習	16	実践演習に取り組む。	・受験に向けて実践力を養う。
	2	国立2次 直前演習			
	3				